

地域公共交通活性化・再生総合事業

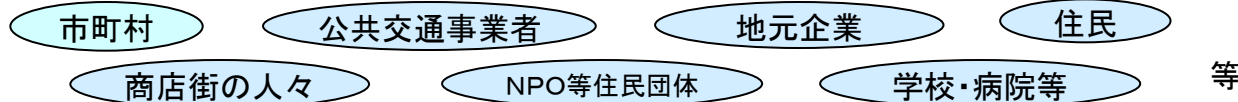
資料3-3-2

22年度予算額
40.2億円

地域公共交通活性化・再生法の目的を達成するため、同法を活用し、地域の多様なニーズに応えるために、鉄道、バス・タクシー、旅客船等の多様な事業に取り組む地域の協議会に対し、パッケージで一括支援することにより、地域の創意工夫ある自主的な取組みを促進する。

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年10月1日施行）

法定協議会



市町村が策定

- ・ 協議会の参加要請応諾義務
- ・ 計画策定時のパブリックコメント実施
- ・ 計画作成等の提案制度
- ・ 協議会参加者の協議結果の尊重義務

地域公共交通総合連携計画(法定計画)

地域公共交通の活性化及び再生を総合的かつ一体的に推進するための計画

協議会が策定 うち協議会が取り組む事業

地域公共交通活性化・再生総合事業による支援

<補助率等>

策定支援

①「地域公共交通総合連携計画」
(法定計画)策定経費 定額

②総合事業計画に定める事業に
要する経費

- ・ 実証運行(航) 1/2
- ・ 実証運行(航)以外の事業 1/2 ※
※政令市が設置する協議会の取り組む
事業 1/3

取組支援

<制度の特徴>

- 【計画的取組の実現】
 - ・ 計画に対する補助で、計画的な事業実施が可能
- 【協議会の裁量確保】
 - ・ 事業をパッケージで一括支援
 - ・ メニュー間、年度間における柔軟な事業の実施
- 【地域の実情に応じた支援の実現】
 - ・ 地域の実情に応じた協調負担の実現
- 【事業評価の徹底】
 - ・ 成果を事後評価し、効率的・効果的な事業実施を確保

地域公共交通活性化・再生総合事業計画（3年）

(例)

- ◇ 鉄道、バス・タクシー、旅客船等の実証運行(航)
 - ・ 鉄道の増便・ダイヤ変更等の実証運行
 - ・ コミュニティバス・乗合タクシーの導入、路線バス活性化の実証運行
 - ・ 空港アクセス改善(空港アクセスバスの実証運行等)
 - ・ 旅客船の航路再編・増便・ダイヤ変更等の実証運行 等
- ◇ 車両関連施設整備等
 - ・ バス車両購入費、車両・船舶関連施設整備、バス停待合環境整備、デマンドシステムの導入、LRV(低床式軌道車両)の導入 等
- ◇ スクールバス、福祉バス等の活用
- ◇ 乗継円滑化等
 - ・ 乗継情報等の情報提供、ICカード導入、P&R・C&Rの推進 等
- ◇ 公共交通の利用促進活動等
 - ・ レンタサイクル、イベント、広報、乗継割引運賃・周遊切符等のシステム設計 等
- ◇ 新地域旅客運送事業の導入円滑化
- ◇ その他地域の創意工夫による事業



安曇野市地域公共交通協議会

平成20年3月26日設置
平成20年3月26日連携計画策定

概要

長野運輸支局 学識経験者 松本電気鉄道(株) 南安タクシー(有) 安曇観光タクシー(株) 明科第一交通(有)(株) バイタル 交通事業関係労働組合 長野県バス協会 長野県タクシー協会 社会福祉協議会 各地域審議会 道路管理者 安曇野警察署 長野県 安曇野市 他



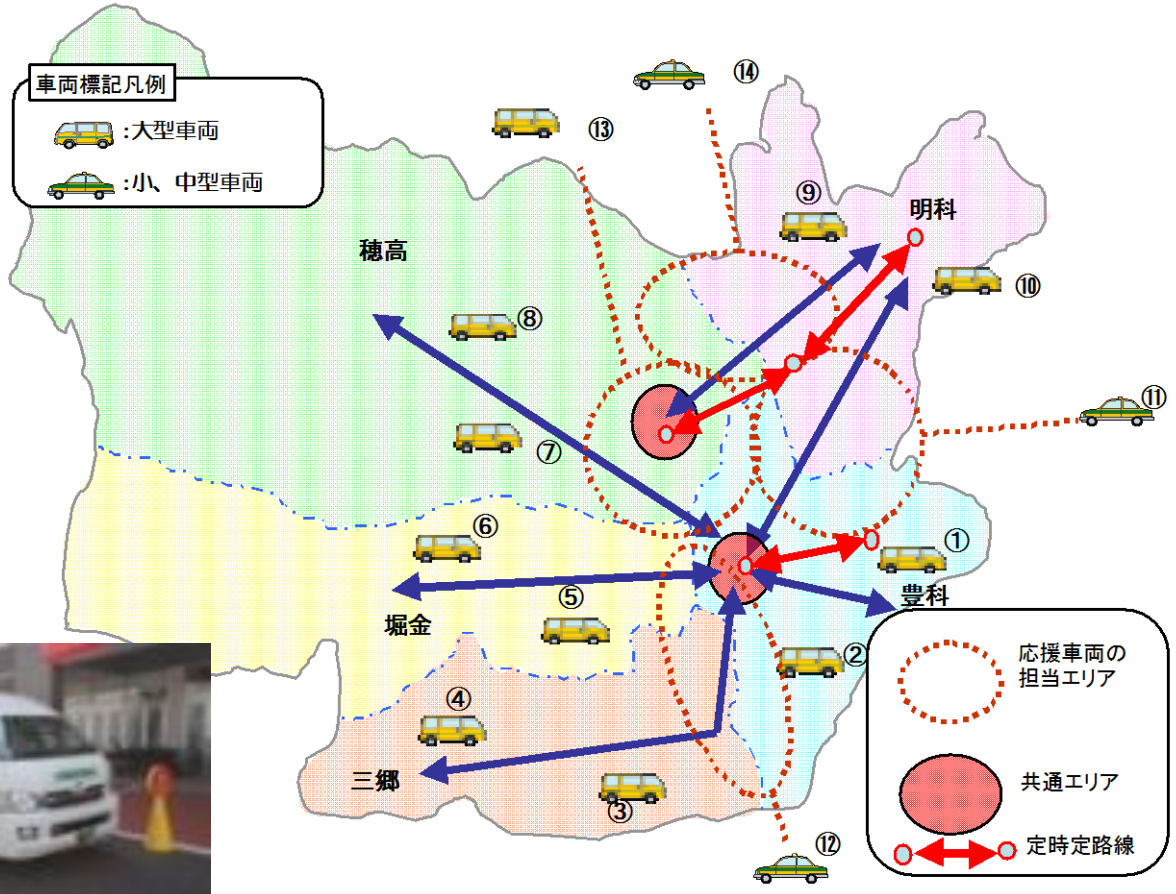
○乗合タクシーの運行
安曇野市内にて乗合タクシー等を実証運行し、地域住民の生活を支える交通手段として利用の定着と促進、改善改良を加える

- ・公共交通の空白地域の解消
- ・病院、商店等へのアクセス向上等住民生活の質的向上

○実証運行の検証及び観光客対応や市外移動方法等についての検討と検証

- ・実証運行の検証
- ・観光客や住民の公共交通の利便性等に対する満足度向上のための検討と検証

実証運行における車両配置イメージ



受付センター





兵庫県豊岡市

概要

公共交通の基幹を担っている路線バス26路線117系統のうち11路線41系統が平成20年10月1日から路線休止された。

これを機に地域の関係者が適切な役割のもと、主体的かつ積極的に連携・協働し、移動手段の維持・確保、活性化に向けた路線バスの再編及びコミュニティバス・乗合タクシー等の新たな交通システムの導入を含めた取組みを行う。

〇市営バス「イナカー」(énacar)の実証運行

運行方法：道路運送法第78条

市町村運営有償旅客運送(交通空白輸送)

運行期間：平成20年10月から平成23年3月まで

運行路線：12路線(一部路線でデマンド運行)

運行本数：平日 125便 土日祝日 45便

運賃：初乗り(2.5km未満)100円

以後2.5kmごとに100円加算 上限 400円

運行事業者：全但バス・日本交通・ランドウェイ・京都さくら観光

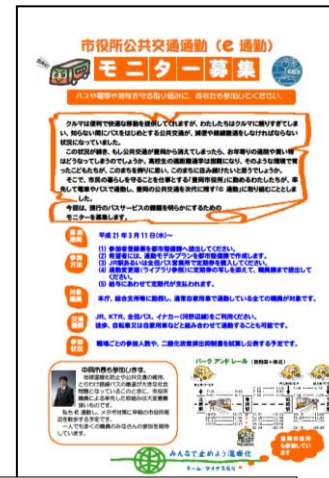
〇公共交通利用促進に向けた取組み

市内の事業所や行政、公共交通機関が協働して、バス・鉄道の利用を促し、地域公共交通を次代に残す取組みを行う。



イナカー(河野辺線)

イナカーPRチラシ



市役所公共交通通勤



イナカー(合橋資母高橋線)デマンド運行

「人と地域をむすぶ快適で円滑な公共交通ネットワークづくり」をめざして [恵那市 中津川市]

【基本方針】 ①明知鉄道の基幹路線としての安全性の確保と機能強化、②基幹路線である明知鉄道とその支線となる交通機関との連携強化、③マイバス・マイレール意識の醸成による公共交通と地域住民との連携強化、④公共交通とまちづくり・観光振興の取り組みと連携強化、⑤地域公共交通運営組織間の連携強化。

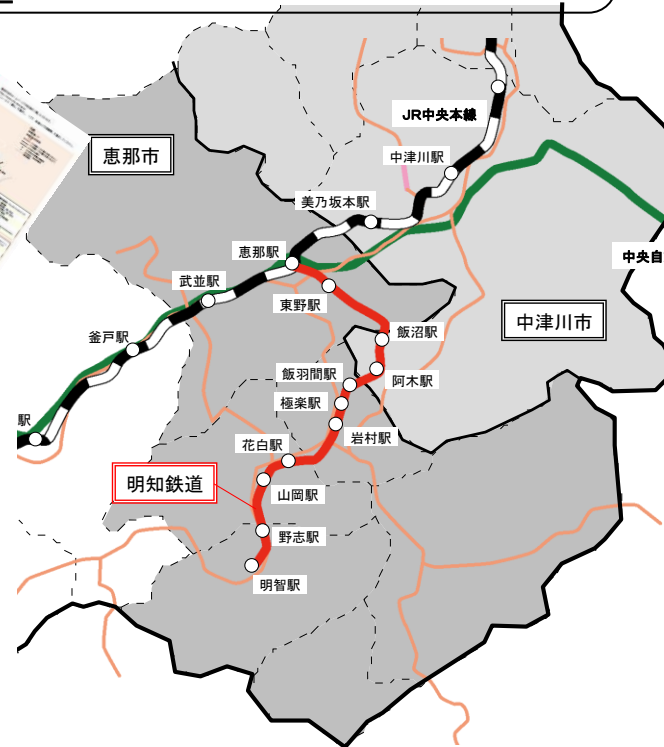
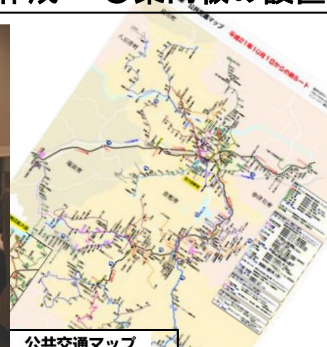
【目標】 鉄道利用者数 42.3万人（19年度）→48・8万人（23年度）
バス利用者満足度 満足・やや満足と回答した利用者70%（23年度）

【総合事業計画】

- 公共交通マップの作成
- 公共交通シンポジウムの開催
- ラッピングトレイン・バスの運行
- 公共交通の活用方法に関する広報周知
- バス路線再編による実証運行
- 効果検証調査
- 観光パンフレット作成
- 案内板の設置



明知鉄道の基幹路線としての機能強化



鉄道との乗り継ぎを考慮したバス路線網の再編

公共交通マップ

190
100

恵那駅前バス乗り場案内

マイバス・マイレール意識の醸成 (シンポジウム・マップ等の作成)

マイバス・マイレール意識の醸成 (シンポジウム・マップ等の作成)